夕刊
磐城新聞
十月六日　發行
(日曜祭日翌日休刊)

潮聲句會　第四十六回　(於萬袋居)

席上互選

蚊帳の別れ

思ふて人におくれぬ蚊帳名殘　武門
畳きかへて枕明るし別れ蚊帳　文狂
夕となり袷も見えて蚊帳別れ　欽一
廊さきに蚊帳干してある名殘かな　鶴歩
水車の音澄む夜となりて別れ蚊帳　石城
試し見る蚊帳名殘る夜の腕枕　十里
うるさきに慣れたる頃を別れ蚊帳　晩霞
雨二日端なく蚊帳に別れけり　萬袋
手や足や蚊帳に別れしのび心地　江亭
安く寢た蚊帳につれなき別れかな　素秋
蚊帳に別れ夜半を唸る蚊の一つ　芳月
別れ蚊帳天高き日に干され居る　欽一
九月蚊帳なぶる夜風の冷え々々と　鶴歩
水郷や網と干しあり名殘蚊帳　石城
今日明日とのび行く蚊帳の別れ哉　十里
雨つゞき吾家に早し蚊帳の果　晩霞
蚊帳の色さめてさびしき別れかな　萬袋
枝豆の太りて蚊帳の別れかな　江亭
霧深き其夜を蚊帳の別れかな　素秋
蚊帳に別れ茶の間に寢床移しけり　芳月
兒の寢顔覗いて蚊帳に別れけり　素秋
去年來し紺屋の見えず別れ蚊帳　眞砂常
別れ蚊帳褪めて藁屋の竿にあり　晩霞
蚊帳名殘り寛く子等の寢顔かな　十里
蚊帳に別れて部屋廣々となりにけり　芳月

秋冷集　(二)

島田　忠夫

早曉平町に銃聲あり、万ち出でて演習を見る。

○天の露おりてしとどなる朝の田に演習兵はひそみたる見ゆ

○市街戰の銃音きこゆ上海の勇猛戰を思ひ出でむか

○上海の戰にしてわが知れる鶴沼義光は戰死げにき

○おだやかなる世となりてこゝの町なかに市街戰見むと人らとよめく

○市街戰にしたがひ歩く町なかに友の離れかれと會ひて和める

○演習はいまだも止まぬ朝寒し吾が病み妻はしはぶきしつゝ

漁師の子　(童謡)

土田　まさ

こどし三つの行切は　話せない
舌がまはらぬ　それでも父はと
　　きく時は
　　舟こぐ眞似して
　　手をのばし

時代警語

○大海の水も一滴より……(俚諺)
アルビオンの峭立せる白石巖は顯微鏡を以てせざれば認め得る事が出來ない沙虫の白殼より成り立つたものである、其の極少のものも積めば斯々の如き非常の結果を成すものである……

えんや、えんや
えんやえと
漁師の子だけに
おもしろい。

山の湯　(民謡)

なかの・ひさを

湯の夏
この夏
山の湯よ
お祭十七
月三亭
赤いたすきが
知らぬげよ
そんなら今年も
よそかしら
(よそかしら)

時事

日
7 △符野探幽歿す(延寶二)△ガンベッタ捷し氏の成功の一日も早からしめるやう應分の力を與へてやる事こそ刻下の急務であると思ふ。彼の主唱に係る其の愛國的事業も斯くしてこそ益々殿堂に到達する期が早いであらうことを思ふからである。彼をしてとや斯う言ふ徒輩があると聞く、だがそれは彼を羨望する盲者の囈語である。羨望は自己破壞であり、自己萎縮であり、之れ位自己を殃するものはない。假にもさうした徒輩があるとしたら實に憎みても餘りあるものであると思ふ。眞に彼の運動の精神を知れば彼を力附け彼れを鞭撻し彼の成功を祈るやうになるであらう。地方人にして恁ふした全國的運動のあることを知る者があつても其の運動の主唱者が彼である事を知らぬ人が多かつたやうである。筆者は彼れの恁ふした大事業の成功する迄は書く事を避けるつもりであつたが而し彼れの成功は既に九分通り達した事だ餘りにも明瞭になつて來たことを思はれるので書いた迄の事である。

10 △巴里脱出(一、八七〇)△八ヶ月る亘る民國南北戰爭終熄、兩軍の死者七萬五千、負傷二十四萬と稱さる(昭和五)△南京廣東の和平交渉成る△英國議會解散△ドイツ大統領國家緊急令を發し獨裁政治ヶ布、ブリューニング內閣總辭職(同六)

社會の今日

○親しめる灯となり障子貼りにけり　柳人

救護所の綻び繕や秋時雨　竹坡

植田から

風流生

彼れが單なる事業家肌の青年として働くだけなら敢てこゝに書く可き程の事でも無いであらう。併し彼の事業がそして其の愛國的精神が外には躍如として輝き出し柔社會に大なる刺戟となつて働き掛けずには居かないであらうと共に、內には自己の生の意義に益々大を覺ることになるではあらう。而も彼は冷態ふした繁雜なる事業の中心的人物となつて活躍して居乍ら故郷に在る母を忘れる事をしないのである。遙々遠、あの滿洲から屢々親書を植田町の慈母に寄せては心行く迄之れを慰め、慈しみつゝ孝

拈華微笑

斯藤、痛し狩

◇トントン拍子に殺された豚コレラ都內で五百五十八頭

◇愛兒を喪つたブロークンハートの母が逆上、譫言か涙無きものぞ

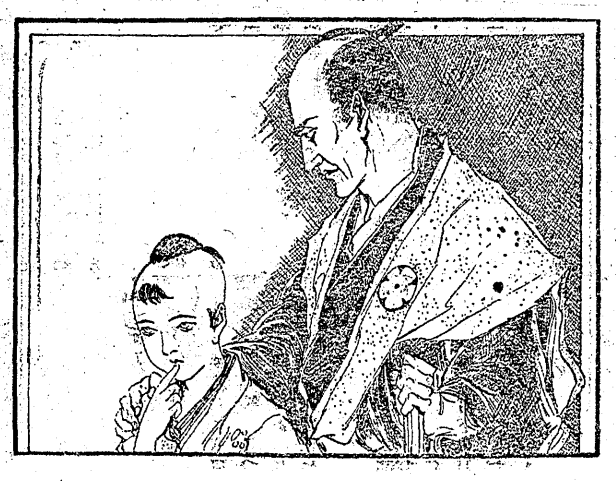
◇秋のオリンピック。赤井嶽の裏野で鹿の卷狩り

◇清鮮な秋の味覺松たけ出盛る

◇蔬は蒸調、米は

餐の道を歩んでゐるあの强義せしめると、容易ならぬいそして優しい心根を筆者大事件であるから評定所のは良く知る者である。それ裁判に付するのが至當だと筆者は氏の母からの依頼復申した、其の結果此の年で彼れに對して書信を送るの六月に老中から大阪城代ことがある、其れに對するに傳令して町奥力同心二十彼の返書を見る度に彼の熱餘人を道中の警固に充て駕意、それからその溫情さ重なる網乘物で江戸に護加減に只涙するのみであるしたのが關係犯人の生存者筆者は彼が將來本縣の志田全部中に五郎兵衛夫婦も交日本の志田、否東洋の志田つてゐた。

たり得るやうそして彼れの愛國的精神の活動舞臺として一層伸長させ度いものと心窃かに祈つてゐる者である。同時に地方民は良く氏の諒解して之れを應援し鞭撻し氏の成功の一日も早からしめるやう應分の力を與へてやる事こそ刻下の急務であると思ふ。彼の主唱に係る其の愛國的事業も斯くしてこそ益々殿堂に到達する期が早いであらうことを思ふからである。彼をしてとや斯う言ふ徒輩があると聞く、だがそれは彼を羨望する盲者の囈語である。羨望は自己破壞であり、自己萎縮であり、之れ位自己を殃するものはない。假にもさうした徒輩があるとしたら實に憎みても餘りあるものであると思ふ。眞に彼の運動の精神を知れば彼を力附け彼れを鞭撻し彼の成功を祈るやうになるであらう。地方人にして恁ふした全國的運動のあることを知る者があつても其の運動の主唱者が彼である事を知らぬ人が多かつたやうである。筆者は彼れの恁ふした大事業の成功する迄は書く事を避けるつもりであつたが而し彼れの成功は既に九分通り達した事だ餘りにも明瞭になつて來たことを思はれるので書いた迄の事である。



講談　お蘭陀お蝶

(15)　渡邊默禪作　布施長春畫

老中は是を長の日の評定所に諮問して裁判の管轄を

部下總守は儒官林大學頭の意見を容れ、慶安の判決例に依つて死罪申すべき處、幼稚の儀に就き別段の御宥恕を以て大阪に於て永牢』と小氣味のよい判決を下した

將軍家も此の判決には非常に悅ばれた、十五才になるを待つて出家させようとの情深い考から上野の東叡山を動かして同意せしめ弓太郎に『右之者儀、父の科に依つて死罪申すべき處、幼せられぬ、況して今は時勢人情が違ふと大いに寛典論を唱へ、とう〳〵他の判事の論議であつたが、間部下總守は此の大慈悲心を起して林大學に下問する樣になつた動機は面白い評定所で審問する折その兒を是へと側に召した、すると弓太郎はのたゝ〳〵と御ひ上つて下總守の膝へぴたりと取付いて天使の樣な顏をにこ〳〵させて『爺ちやまッ』とかた言で云つた。

間部下總守が此の大慈悲

餐料)　岡倉由三郎

△六、五五A　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇A　講演(北海道の水害凶作の慘狀に就て!)北海道廳長官佐上信一
△八、〇〇A　ヴァイオリン獨奏　エフレム、ロンバリスト
△八、四〇A　歌謡　歌澤芝金
△九、〇〇A　太神樂(祝東京)丸一鶴小仙一座
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象
△八、〇〇A　ラジオ體操
△七、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理獻立
日用品値段
△一〇、三〇A　家庭講座(今日は生活)新の絶好機)　柳橋源太郎
△正午　A時報　氣象
△後〇、〇五B　新日本音樂　尺八獨奏及琴撫　酒井竹保
△〇、四〇A　ニュース
△二、〇〇A　婦人講座(秋の默に就て)　中原綾子
△二、二五　五、三〇A　運動競技(六大學野球リーグ戰試合狀況　強傳日)
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇A　ニュース
△六、〇〇P　(子供の時間)お話(阿倍川の義夫)　貞松修嶽
△六、二〇A　コドモの新聞
△六、二五A　英語講座(初級五十二)
△八、〇〇A　ヴァイオリン獨奏　エフレム、ロンバリスト
△八、四〇A　歌謡　歌澤芝金
△九、〇〇A　太神樂(祝東京)丸一鶴小仙一座
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象

秋ヲ代表
イタシマス洋食
松茸ソテイー
松茸フライ
松茸ライス
ビフステーキ
メンチボール
チキンソテイー
紅茶
上御酒二十五錢
洋食・喫茶・宴會
コンパル
電話六六六番

難波醫院
一內科
般科
醫學博士　難波睦
平町大町新川端(電話五〇二番)

川魚御料理
大蒲燒(一人前)四十錢
うなぎ丼(一人前)二十五錢
どぜう蒲燒(一人前)三十錢
どぜう丼　二十五錢
柳川　十五錢
とろろうなぎ　百匁　二十五錢より
とろろどぜう　百匁　二十錢より
肥滿迅速
相馬屋
國丁目川岸通り(電話二六一番)

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社直營特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店　水戸線下館驛前(電話五五番)
支店所在地
茨城縣土浦町田宿(電話六五三八二四)
常磐線關本驛前(電話本鴻五四)
常磐線四倉驛前(電話四八)
營業種目
石油揮發油輕油、重油、マシン油、モビル油、機械油、類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ……
(型錄進呈)

平町田町
井坂醫院
電話五五九番

藤沼醫院
平町紺屋町電五〇七

秋の帽子と毛布
●廉價な優秀品●
旅行用トランク・ステッキ
ハンドバック・お化粧用品
秋向お子樣の服裝用品種々豐富に取揃へました
正　中野洋品店
平二町目・電五十三番

糸毛のヤトモシハ
本年度新色全部揃ひました。
御値段は昨年と同じ位です。
色見本帳進呈致します。
田町
ハシモトヤ糸店
電話一四番

氣管、食道科、耳鼻咽喉科、專門
平町南町
增田耳鼻咽喉科醫院
(元眞木辯護士跡)
電話四八二番
(入院隨意)

ラヂオ
……七日(金曜)……
仙臺　JOHK
△前六、〇〇A　ラヂオ體操
△七、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理獻立
日用品値段
△一〇、三〇A　家庭講座(今日は生活)新の絶好機)　柳橋源太郎
△正午　A時報　氣象
△後〇、〇五B　新日本音樂　尺八獨奏及琴撫　酒井竹保
△〇、四〇A　ニュース
△二、〇〇A　婦人講座(秋の默に就て)　中原綾子
△二、二五　五、三〇A　運動競技(六大學野球リーグ戰試合狀況　強傳日)
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇A　ニュース
△六、〇〇P　(子供の時間)お話(阿倍川の義夫)　貞松修嶽
△六、二〇A　コドモの新聞
△六、二五A　英語講座(初級五十二)
△八、〇〇A　ヴァイオリン獨奏　エフレム、ロンバリスト
△八、四〇A　歌謡　歌澤芝金
△九、〇〇A　太神樂(祝東京)丸一鶴小仙一座
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅物
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

淋藥界の最高權威
無効返金(二日間服効なき時は殘藥引に全部返金す)
岩里病　別府淋藥
世界の名湯別府溫泉で名高い・岩里家の家傳秘藥は男女血ウミ、コシケ、淋病消渇に奇蹟的効果あり、どんな頑固な痼疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
一週間……赤箱一金五圓　黑箱一金參圓
別府皮膚藥　金三十錢　金五十錢
天下の名湯別府溫泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みづむし、なまず、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園　岩里天然堂
平町三丁目北裏通り
代理店　渡邊いと
(特約店募集)

苦況に喘ぐ農村から
良畜五百六十頭を奪ふ
昨五日現在の郡下豚コレラ慘況

多賀町を病源地として急激に擴まつた郡下の豚コレラは之が豫防撲滅に關する當局の活動もその効無く今尚ほ毎日若干の罹病者を出し果していつ終熄するやら殆ど見込みがつかぬ有樣であるが昨五日現在に於ける郡下各町村の斃死及撲殺數は左記の如く實に五百五十八頭の多數に上つてゐる

町村	斃死	撲殺	計
勿來	八	一七五	一八三
小名濱	六	九三	九九
江名	六	一九六	一九二
湯本	一	二六	二七
平	一	一五	一六
四倉	三	三	六
植田	一	一四五	一四六
錦	三	四八	五一
泉	一	一〇	一一
草野	一	八	九
豊間	一	五	六
玉川	一	三	三
川部	一	六	六
鹿島	一	一	二
磐崎	三	七	一〇
夏井	一	一〇	一〇
内郷	一	五	六
高久	一		一
大浦	一	二	三
山田	一	二	三
田人	一		一
計	三五	五三	五八

斃死は豚コレラ病に因るもの斃死五十三頭、撲殺百五十三頭、計二百六頭に過ぎない。

豚コレラ豫防座談會　平署主催の豚コレラ豫防座談會は明七日郡山市開催される豚コレラ豫防座談會に出席する技手は明七日郡山市開催される豚コレラ豫防座談會に出席する

出廻り最盛期に
繭價稍々落調
昨日の最高五十八圓九十錢

四倉繭市場昨五日の取引左の如し

白玉數千四百四十二貫、最高五十八圓九十錢・最低四十圓、買繭五十三圓八十錢

俵當り六錢五厘
大浦農倉の米穀取引況

大浦農業倉庫昨五日の米穀に落札したが前回より六錢五厘同販賣は出荷四等六十七の高値で今後大した變動は五等五十、等外一合計百十ないらしいと玄人筋は觀測八俵で四等俵當り十圓八十一錢で大浦村鈴木己之助氏

胡蝶は群れ舞ふ
明七日早朝から
第二校の運動會

本第二小學校では三校のトップを切つて明七日午前八時から秋季運動會を開催するがプログラム次の如し

ラヂオ體操　綱引2　飛行船歡迎3　日本海々戰4　子供の汽車、山田の柴子2　繼走選手5　バスケットボール選手6　胡蝶5　綱引高1　繼走選手4　紅白玉入れ1　支那の戰爭6　國旗と軍旗　夕やけ小やけ1　體操競技職員、連の行路病者高2　連合體操6以上　彈雨を冒して5　白鳥の舞高全　繼走高2　綱引3　昭和の子戰闘に於て得たる教訓供、ボートレース4　繼走高1　バスケットボール2　虹、兎のもちつき6　ボールリレー職員聯合體操4　バスケットボール高選手　先んず悲慘の状況加ふるに從ひ益ば6　ゆつくり急げ高2　越えら　ハーモニカと白ばら3　ラヂオ體操4以上

必勝を意氣込む
平第一・第三校の選手
濱三郡籠球競技迫る

磐中校友會主催の第一回濱三郡小學兒童籠球大會は愈々來九日の目撃に迫つたので平第一、第三兩校では目下猛練習中であるが次の如し

（第一尋常科）綠川浩行、石黑武雄、綠川重春、綠川務、山崎道雄、小林正久、吉田伊四郎、田中忠太郎、矢野浩一、岩崎久治郎、高山秀夫、中島利夫

（同高等科）佐藤道也、齊藤武夫、清水久吾、青木明、佐藤啖藏、富田芳郎、佐藤福兒、君島敏雄

（第三）鈴木福壽、鷲純一、白土廣、若松良雄、遠藤德藏、遠藤良男、高牛五郎、平野井正治、南波一郎、吉田喜藏

平商生遠足　明七日午前八時から全校生が石森山に遠足をなす

營林署軟式野球
第二回濱三郡

營林署の軟式野球大會は九日午前八時から平第一小學校庭で優勝カップ返還（平）

内村平署長の始球式によつて開始するが各軍バッテリー次の如し

（平）猪狩、高澤（植田）堀口、瀧内（富岡）生駒、筆頭に入る上遠野、荷路夫は恩師に貰ぎつゝあるなど鈴木（浪江）安藤、三好泊等山間部の各三四ヶ月が之に次ぎ益々增加の傾向を辿り之等の村落に奉職する教員は當面の生活苦に呻吟して居るが最近繭の高値米の增收豫想、匡救土木事業等に依り幾分活氣を呈し漁に出動中であるが未だ洞て來た各農村の父兄は非常に同情し米、野菜其他日用品を私かに供給し兒童自身も放課後茸、蕨等を採つて郡下貧弱町村の小學教員に給米拂は川前村の六ヶ月分も恩師に貰ぎつゝあるなど師弟間の美しい人情味を見が之に次ぎ益々增加の傾向せて居る

師弟間の人情美
俸給を貰へぬ教員に
兒童連の涙ぐましい贈り物

秋刀魚不漁
各　悲鳴を擧ぐ

泣き込んで流れ
男のお目見得泥
横着な本戸の幹雄捕はる

双葉郡木戸村大字木戸七五次郎氏方に至り炭鑛の失業者で食ふに困るからと泣きつて悲觀の餘の精神に異狀平署に捜索方を願ひ出た

子供を奉公に出して
嘆る現在の苦境
政府米拂ト期成同盟會が
町村長へ歎願趣意書の一齣

政府米拂ト期成同盟會が町村長へ歎願趣意書の一齣

趣意書

政府米拂ト期成同盟會

趣意書左記の如し

經濟恐慌だの非常時時代だのと、毎日の新聞の社會面が覆はれて居りますが實際に私達の生活は明日の生活に差し支へ其の日の食に饑え切つて居り私達の知つて居る範圍内丈でも七八百人の人達は或る者は三食を二度乃至一度にしそれも饑をしのぐ丈の粥食にじ或は未だ義務教育を卒へぬ可愛なる子供を知らぬ他國に奉行に出す等如何にしてこの不況を切り拔けるかにあせつて居るのでありますしかし乍らそうした可愛なる子供を奉公に出した金も燒石に水のたとへの樣に右から左に消へて殘るは明日の生活を如何にするかと言ふ惱みの人達を餘りに多く見せつけられて來ました。私達は失業救濟事業に依つて月に五日なり十日なりの仕事が出來、幾分かの食に安定を得た人達もあることはあるでせうが、しかし失業者の大半は未だに明日の米を如何にするかと言ふ惱みは消へ去らない事は事實であります

（中略）それで町村當局に御願致しまして左記（昨報）の條項を御聞屆の上實踐して貰ひたいと嘆願致すのであります、皆さん私達の趣意に御賛成下被れば同盟委員として幸甚そのものであります。

實る秋
農村チッケス〔七〕

秋の陽がなごやかな光を投げて居る田舍道——雞の鳥冠のやうな雞頭の花が三本、今を盛りと咲き誇り殘るは明日の生活を如何にするかと言ふ惱みの人達を餘りに多く見せつけられて來ました。私達は失業救濟事業に依つて月に五日なり十日なりの仕事が出來、幾分かの食に安定を得た人達もあることはあるでせうが、しかし失業者の大半は未だに明日の米を如何にするかと言ふ惱みは消へ去らない事は事實であります

（中略）それで町村當局に御願致しまして左記（昨報）の條項を御聞屆の上實踐して貰ひたいと嘆願致すのであります、皆さん私達の趣意に御賛成下被れば同盟委員として幸甚そのものであります。

肥沃の曠野に熱血は沸る
吾こそパイオニアと滿洲國を研究

逃走した鹿に
赤井嶽で甘圓の懸賞

昨六日夜半半窪村地内に一頭の鹿が現はれたので同村青年が捕へ赤井嶽から逃走したものと見込みをつけ直に其旨を通知したので同所から係りの者が駆けつけたが

艷聞黑白

◇以前好況時代には大抵除と云ふと新田町の一流處は勿論、三味線の美妓夫々適當な相手

◇拘はず、富

○……○

玉を附けて貰つて湯本千代、ほた人、若丸、あたりへ避難したものだ◇處がこの頃は埃子、たからなんで連中よりのマスクも買ふ金がしきりに大掃除か待つ無い爲已むを得ず手ち遠しがつてゐるので試ひの猿ぐつわをはめ此奴小ましやくれてゝ掃除と云ふと新田町のなと思つたらナアンの一流處は勿論、三味線けるやら鏡さゝ掛けるこつた、盛ん上げると昇ざから昇格して間もするやら。それは如何無いやうな小便くさい銅貨がこの頃は流行つてゐるからだの老夫々適當な相手に

ある◇に拘はず、富

○……○

愛兒の死に母が逆上
江名の漁夫が平署へ捜索願

江名町江名漁業山本平平妻の不在中家出し行方不明となつたので平から今六日ハルエ（三三）は最近愛兒を喪なつて悲觀の餘の精神に異狀日沒後の事として間に妻を見滿等あると、尚同會では來失つたので二十圓の賞を懸月二十八日より一週間新潟捜索中であるが未だ當群馬、長野の三縣の視察員金に有りつかんとする者多二を詮衡中である

門傳氏憤る
告訴の非を鳴らし
延内緊張の氣漂ふ

人遠野村大瀧鈴木巳之吉（五二）の二千圓詐欺未遂事件の公判は昨五日午前十一時から平支部に於て開廷昨報の如く立會市川檢事の求刑懲役二年に對し眞木、門傳兩辯護士の辯論に移らんとし

た際門傳氏が傍聽席から告訴人志賀義春を發見し大に憤慨し其の非を鳴らしで中島裁判長から制止される等頗る緊張の色を見せた

豊間信組役員會　八日午後一時から同村役場に開く

植田雞講習　菊田實業學校主催の下に明七日午前九時から同校内に開催するが講師は縣城島技師である

四犯男に三年　當時住所不定無職前科四犯新潟縣三島郡北板町坂町生れ吉田德治（三六）は去月二日午後十二時頃東京市仟原區四谷町教天寮内で松崎芳男所有の現金五十一圓を、十九日より二十三日迄平町舊城内荒木良男方から二圓六十八錢仕中の墓口を窃取した外二件の窃盜を働き今六日平區で關口判事係り上田檢事關興廷懲役二年を言渡された

麥栽培講演　山田村農村研究會では十二日午後一時から同村小學校で柴田技手の大小麥の栽培及產業組合に就ての講演會を開くと

東部教育會諸催し　縣東部（浜三郡）聯合教育品展覽會は來月二十四、五兩日富岡公會堂に、同上代議員會は十六日同小學校で、總會は二十七日同公會堂に於て開催する

泉村製俵講習會　農村會主催の下に八日午前九時から同村役場で開催する

第五回郡内〜〜〜來月十二日兒童唱歌會〜〜〜湯本小學校に於て開催する事に決定した

大塚のサービス
◎野球用グローブ（修繕無料）
◎庭球用ミット（修繕無料）
ラケット
定價の一割引
平・田町電話一七番
大塚運動具店
運動會用ランニング着とパンツを：

夏期中臨時大特賣トシテ御願申シマシタ。石炭モ御薩樣デ全部チ賣盡シマシタ就キマシテハ從來ノ石炭ヲ御願ヒスル事ニナリマシタカラ不相變御引立ノ程偏ニ御願申シマス。
◎正味十貫目　金三十錢
御注文ハ
電話三七番へ
◎阿部石炭商店
平停車場前
配達ハ一俵ヨリ致シマス。

煮込本日開始
おでん　一人前　金二十錢
松茸釜めし　二人前　金六十錢
さつま汁　一釜　金十錢
ざうに　一椀　金十錢
しるこ　一椀　金八錢
……出前速達……
三益食堂
電三二一

内臓外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

舊金曜　新九辛丑十月佛滅八定日七斐宿日

▲一白の人　短才みづから恥み過つ賢者の靈けんに從ふが安全▲二黑の人　一點崖に立ちて足元狂ひ廣

にあはなければ成る如し▲三碧の人目上にみ放され物事赤恥ひ通りに運ばぬ日▲四綠の人　過大なる望みを起して恒產を失ばんとす▲五黃の人　他念なく生業に出精すれば基礎益堅固なり▲六白の人　勇氣奏ふれば計畫も折す一層奮起すべし▲七赤の人　根氣好く從前の方針にて進めば大吉なる▲八白の人　温健なれば次第に榮譽に近づく事を得る日▲九紫の人　運氣盛大にして美事なる發達を遂ぐべき日

平町農中錄

△出　生十五丁目二〇高田隆一二男隆二長橋町四四奥山正明二女正子六間門五東條福英長女伸一立町八五たちばな源太郎三女敬子

△婚　姻　磯崎小路四双葉郡廣野村下淺川廣長八七沼田唯一郎（三三）四倉町伸町九四大須賀セン（三三）

△死　亡　田町五四内郷村寄竹之内三四秋山とし（〇）